

(9枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 あとの1～4に答えなさい。

- 1 次の表は、ある学校の学年別クラス一覧を表計算ソフトで作成した画面を示したものです。学年とクラスの文字列を結合し、セルB 2からセルG 4に学年及びクラスを表示させるためには、どのような数式を入力すればよいですか。セルB 2に入力する数式を書きなさい。なお、セルB 2に入る数式はセルG 4までコピーするものとします。

	A	B	C	D	E	F	G
1	学年 \ 1 年	A組	B組	C組	D組	E組	F組
2	1 年	1 年A組	1 年B組	1 年C組	1 年D組	1 年E組	1 年F組
3	2 年	2 年A組	2 年B組	2 年C組	2 年D組	2 年E組	2 年F組
4	3 年	3 年A組	3 年B組	3 年C組	3 年D組	3 年E組	3 年F組

- 2 次の表は、ある飲食店における1か月の利用人数の一覧を表計算ソフトで作成した画面を示したものです。関数を用いて、セルF 2にB列の区分の文字列が「大人」で終わるデータの利用人数の平均を表示させるためには、どのような数式を入力すればよいですか。セルF 2に入力する式を書きなさい。なお、セルF 2～F 5は整数部のみ表示することとします。

	A	B	C	D	E	F
1	日付	区分	利用人数		抽出区分	平均(人)
2	8/1	ランチ大人	62		大人	50
3	8/1	ランチシニア	15		シニア	12
4	8/1	ランチ小学生	12		小人	9
5	8/1	ランチ幼児	5		幼児	6
246	8/31	ディナー大人	39			
247	8/31	ディナーシニア	9			
248	8/31	ディナー小学生	7			
249	8/31	ディナー幼児	4			

- 3 次の表は、あるオンラインショップにおける会員データの一部を表計算ソフトで作成した画面を示したものです。会員名を姓と名で分割し、C列に姓を表示させるとき、セルC 2に入る数式の引数は何ですか。aに入る引数を書きなさい。なお、会員名の姓と名の間には、全角スペースが1文字入力されています。なお、セルC 2に入る数式はC 4セルまでコピーするものとします。

	A	B	C	D
1	会員コード	会員名	姓	名
2	20250123210	小田原 楓	小田原	楓
3	20250135310	堺 太郎	堺	太郎
4	20250147410	山口 菜々子	山口	菜々子

[セルC 2に入る数式]

=LEFT(B2, a)

（9枚のうち2）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

（答えは、全て解答用紙に記入すること。）

- 4 次の入力データは、ある模擬試験における受験生の得点データを示したものです。下の処理条件に従って、実行結果のように成績順位一覧を表示させるアルゴリズムを流れ図に示すと、あとの資料のようになります。資料の中の（1）～（5）には、どのような内容が入りますか。書きなさい。

〔入力データ〕

受験番号 (Ban)	科目名 (Kamoku)	得点 (Ten)
××	×～×	×××

〔実行結果〕

成績順位一覧		
受験番号	得点	順位
1	389	12
2	477	3
⋮	⋮	⋮
19	462	6
20	477	3

〔処理条件〕

- 受験番号は1～20である。
- 入力データを読み、受験番号ごとの得点を配列 Sten に集計する。なお、Sten の添字は受験番号と対応している。
配列 Sten

		～		
--	--	---	--	--

(0) (1) ～ (19) (20)
- 入力データの読み込みが終了したら、配列 Jun を利用し、配列 Sten の降順に順位を付け、受験番号から順位までを実行結果のように表示する。なお、Sten と Jun の添字は対応しており、Sten の値が同じ場合は同順位とする。
配列 Jun

		～		
--	--	---	--	--

(0) (1) ～ (19) (20)
- データにエラーはないものとする。

9

高等学校 商業科実技（問題）

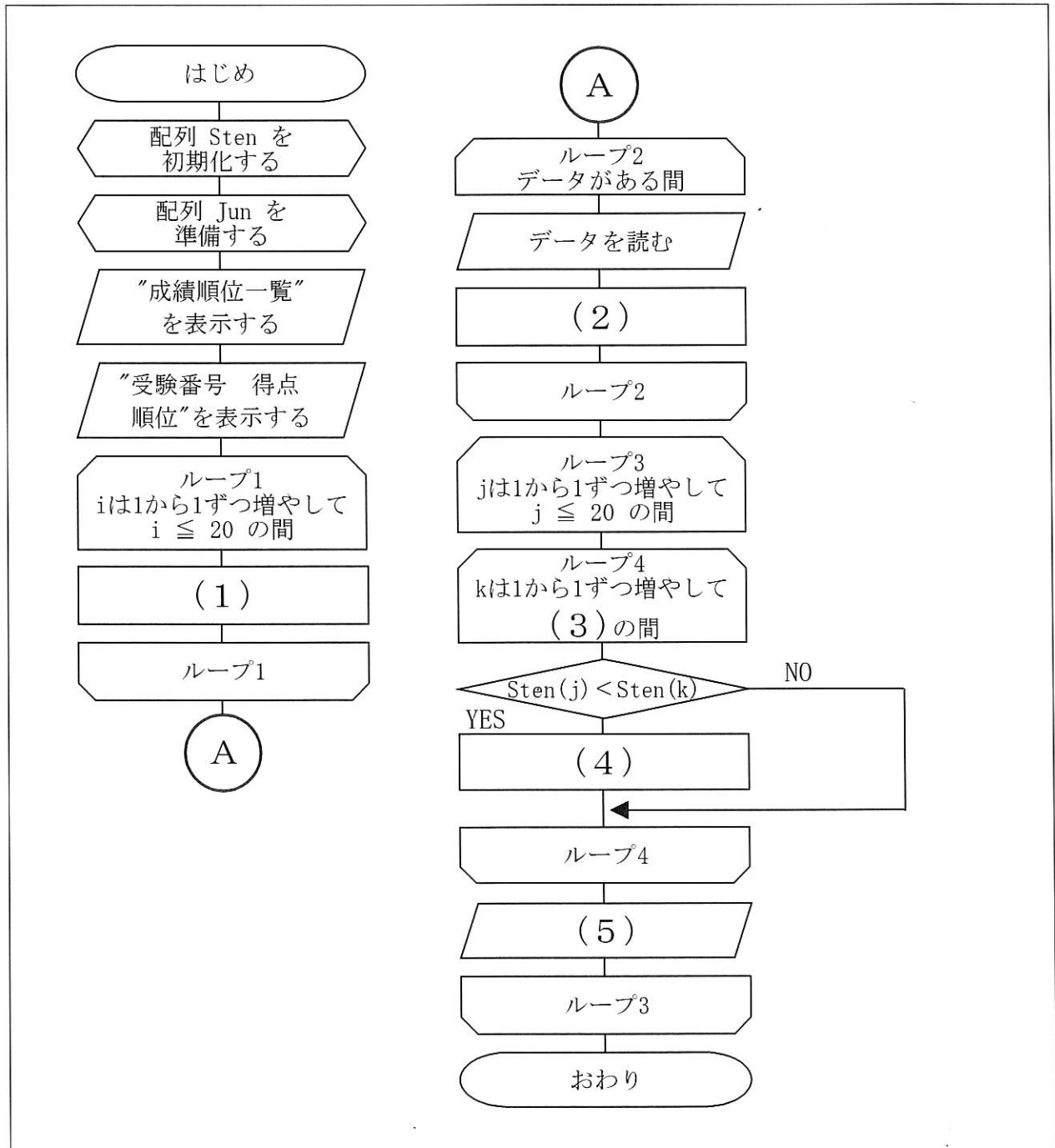
（9枚のうち3）

受験番号

氏 名

（答えは、全て解答用紙に記入すること。）

〔資料〕



9

高等学校 商業科実技（問題）

(9枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 2 次の資料Ⅰ及びあとの資料Ⅱは、C社の要約連結損益計算書と要約連結貸借対照表を示したものです。資料Ⅰ・Ⅱを基に、あとの(1)～(5)に答えなさい。なお、資料Ⅰ・Ⅱの数値の前にある△はその数値がマイナスであることを表しています。

〔資料Ⅰ〕

C社の要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
売上高	2,487,300	912,800
売上原価	1,842,600	528,900
売上総利益	644,700	383,900
販売費及び一般管理費	557,200	198,900
営業利益	87,500	185,000
営業外収益		
受取利息	3,200	900
その他	6,800	2,300
営業外収益合計	10,000	3,200
営業外費用		
支払利息	41,500	8,400
その他	14,300	3,300
営業外費用合計	55,800	11,700
経常利益	41,700	176,500
特別利益		
固定資産売却益	1,200	400
特別利益合計	1,200	400
特別損失		
固定資産処分損	9,700	2,300
減損損失	18,600	14,800
その他	5,600	1,200
特別損失合計	33,900	18,300
税金等調整前当期純利益	9,000	158,600
法人税、住民税及び事業税	17,800	43,000
法人税等調整額	1,300	1,200
法人税等合計	19,100	44,200
当期純利益	△10,100	114,400
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△1,200	4,200
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△8,900	110,200

（9枚のうち5）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

（答えは、全て解答用紙に記入すること。）

〔資料Ⅱ〕

C社の要約連結貸借対照表				（単位：百万円）	
	前期	当期		前期	当期
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	123,400	78,900	買掛金	298,500	81,200
売掛金	187,600	47,300	短期借入金	401,300	121,400
商品及び製品	648,200	259,700	その他	151,700	49,800
原材料及び貯蔵品	21,300	5,400	流動負債合計	851,500	252,400
その他	69,500	21,600	固定負債		
貸倒引当金	△39,800	△9,200	社債	302,000	198,600
流動資産合計	1,010,200	403,700	長期借入金	348,700	152,300
固定資産			その他	98,800	51,200
有形固定資産	742,300	815,600	固定負債合計	749,500	402,100
無形固定資産	82,700	31,200	負債合計	1,601,000	654,500
投資その他の資産	169,800	252,900	純資産の部		
固定資産合計	994,800	1,099,700	株主資本		
			資本金	100,000	100,000
			資本剰余金	82,400	101,300
			利益剰余金	182,300	626,900
			株主資本合計	364,700	828,200
			その他の包括利益累計額	△19,700	9,800
			非支配株主持分	59,000	10,900
			純資産合計	404,000	848,900
資産合計	2,005,000	1,503,400	負債純資産合計	2,005,000	1,503,400

- (1) 当期の流動比率はいくらになりますか。求めなさい。ただし、計算結果は % で小数第1位まで記入し、計算過程で端数が生じた場合は、小数第3位未満を四捨五入すること。
- (2) 当期の売上高販売費及び一般管理費率はいくらになりますか。求めなさい。ただし、計算結果は % で小数第1位まで記入し、計算過程で端数が生じた場合は、小数第3位未満を四捨五入すること。
- (3) 当期の経常収益経常利益率はいくらになりますか。求めなさい。ただし、計算結果は % で小数第1位まで記入し、計算過程で端数が生じた場合は、小数第3位未満を四捨五入すること。
- (4) 当期の売上債権回転率はいくらになりますか。求めなさい。ただし、計算結果は小数第1位まで記入し、計算過程で端数が生じた場合は、小数第1位未満を四捨五入すること。
- (5) 当期の総資産当期純利益率はいくらになりますか。求めなさい。ただし、当期純利益は、非支配株主に帰属する当期純利益を控除する前の金額を用います。また、計算結果は % で小数第1位まで記入し、計算過程で端数が生じた場合は、小数第3位未満を四捨五入すること。

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

（答えは、全て解答用紙に記入すること。）

- 3 次の資料Ⅰは、A株式会社の財務諸表に関する情報について示したものです。資料Ⅰを基に、あとの資料Ⅱのキャッシュ・フロー計算書を作成した場合、資料Ⅱの中の（１）～（８）にはどのような数値が入りますか。求めなさい。ただし、マイナスの場合には、数値の前に△を付けなさい。なお、資料Ⅰの数値の前にある△はその数値がマイナスであることを表しています。

〔資料Ⅰ〕

貸 借 対 照 表					
令和8年3月31日					
(単位：千円)					
資 産	前期末	当期末	負債及び純資産	前期末	当期末
現 金 預 金	2,200	3,620	買 掛 金	1,940	2,260
売 掛 金	3,600	4,400	未 払 法 人 税 等	320	560
貸 倒 引 当 金	△180	△220	資 本 金	10,000	10,000
商 品	1,280	1,200	利 益 準 備 金	200	220
未 収 利 息	40	0	繰越利益剰余金	1,640	2,500
建 物	8,600	9,000			
減価償却累計額	△3,440	△2,460			
貸 付 金	2,000	0			
	14,100	15,540		14,100	15,540

※ 現金預金はすべて現金及び現金同等物と等しいものとする。

損 益 計 算 書			
自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日			
(単位：千円)			
費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	12,600	売 上 高	19,400
広 告 料	620	受 取 利 息	140
給 料	3,780		
貸倒引当金繰入額	40		
減 価 償 却 費	460		
建 物 売 却 損	240		
法人税、住民税及び事業税	720		
当 期 純 利 益	1,080		
	19,540		19,540

- 1 受取利息に係るキャッシュ・フローは「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する。
- 2 当期に剰余金の配当として、株主に対し200千円を現金で支払うとともに、会社法の規定に基づいて利益準備金を積み立てている。
- 3 当期首に建物（取得原価：3,600千円、減価償却累計額：1,440千円）を1,920千円で売却し、代わりに4,000千円の建物を購入し、代金はどちらも現金で決済している。
- 4 当期中に貸付金2,000千円を現金で回収している。
- 5 期中に法人税等の中間納付を行っている。

9

高等学校 商業科実技（問題）

(9枚のうち7)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔資料Ⅱ〕

キャッシュ・フロー計算書			
自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日		(単位：千円)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前当期純利益	(	(1)	)
減価償却費	(		)
貸倒引当金の増加額	(		)
有形固定資産（建物）売却損	(	(2)	)
受取利息	(		)
売上債権の増加額	(		)
棚卸資産の減少額	(		)
仕入債務の増加額	(	(3)	)
小 計	(		)
利息の受取額	(		)
法人税等の支払額	(	(4)	)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(		)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	(	(5)	)
有形固定資産の売却による収入	(		)
貸付金の回収による収入	(	(6)	)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(		)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	(		)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(	(7)	)
IV 現金及び現金同等物の増加額	(		)
V 現金及び現金同等物の期首残高			
VI 現金及び現金同等物の期末残高	(	(8)	)

9

高等学校 商業科実技（問題）

(9枚のうち8)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 4 次の資料Ⅰは、B工業株式会社の標準原価計算の情報及び差異分析のための情報について示したものです。資料Ⅰを基に、あとの資料Ⅱの直接標準原価計算による損益計算書を作成した場合、資料Ⅱの中の(1)～(8)にはどのような数値が入りますか。求めなさい。ただし、不利差異の場合には、数値の前に△を付けなさい。

〔資料Ⅰ〕

1 標準原価カード

標準原価カード（製品1個あたり）

直接材料費	600円/kg	×	3kg	=	1,800円
直接労務費	1,000円/時間	×	2時間	=	2,000円
変動製造間接費	400円/時間	×	2時間	=	800円
計					<u>4,600円</u>

2 生産・販売データ

月初仕掛品	900個	(2/3)	月初製品	600個
当月投入	7,500個		当月完成	7,600個
合計	8,400個		合計	8,200個
月末仕掛品	800個	(1/2)	月末製品	800個
完成品	7,600個		当月販売	7,400個

※直接材料は全て工程の始点で投入し、()内は加工進捗度を表している。

3 当月の実績データ

直接材料費	580円/kg	×	22,200kg	=	12,876,000円
直接労務費	1,020円/時間	×	15,000時間	=	15,300,000円
製造間接費					
変動製造間接費	410円/時間	×	15,000時間	=	6,150,000円
固定製造間接費	11,800,000円				
販売費及び一般管理費					
変動販売費	280円/個				
固定販売費及び一般管理費	3,700,000円				

4 その他

販売単価	7,200円/個
標準変動販売費	300円/個
月間固定製造間接費予算額	12,000,000円
月間基準操業度	15,000時間
月間固定販売費及び一般管理費予算額	3,600,000円
製造間接費は公式法変動予算に基づいている。	

9

高等学校 商業科実技（問題）

(9枚のうち9)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔資料Ⅱ〕

直接標準原価計算による損益計算書			(単位：円)
I 売上高		(	(1))
II 標準変動売上原価			
月初製品棚卸高	()		
当月製品製造原価	()		
合 計	()		
月末製品棚卸高	()	(	(2))
標準変動製造マージン		(	)
III 標準変動販売費		(	(3))
標準貢献利益		(	)
IV 原価差異			
材料消費価格差異	((4))		
材料消費数量差異	()		
賃率差異	()		
作業時間差異	((5))		
予算差異	()		
能率差異	()		
変動販売費差異	((6))	(	)
実際貢献利益		(	)
V 固定費予算額			
固定製造間接費	((7))		
固定販売費及び一般管理費	()	(	)
VI 固定原価差異			
固定製造間接費差異	()		
固定販売費及び一般管理費差異	((8))	(	)
営業利益		(	)

9

高等学校 商業科実技 (解答用紙)

(2枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄	
1	1		
	2		
	3		
	4	(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)	
2	(1)	[%]	
	(2)	[%]	
	(3)	[%]	
	(4)	[回]	
	(5)	[%]	

9

高等学校 商業科実技 (解答用紙)

(2枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄	
3	(1)	〔千円〕
	(2)	〔千円〕
	(3)	〔千円〕
	(4)	〔千円〕
	(5)	〔千円〕
	(6)	〔千円〕
	(7)	〔千円〕
	(8)	〔千円〕
4	(1)	〔円〕
	(2)	〔円〕
	(3)	〔円〕
	(4)	〔円〕
	(5)	〔円〕
	(6)	〔円〕
	(7)	〔円〕
	(8)	〔円〕